

一休さんのきつね話

むかし、ある人が一休さんをたずねてきて、

「なにかおもしろい話を聞かせてもらえませんか」といいました。

一休さんは、

「そうだなあ」と考えてから、こんな話をしました。

「むかし、中国にこんな話があったそうなの。

トラがきつねを追いつめて食べようとした。するときつねがいうには、

『なんと、トラよ。わしを食うてはいかん。天の神さまが、きょうから、わしをけもの大將にしたのだ。わしを食うたら神さまにそむくことになって、バチが当たって、おまえの命がなくなるぞ』

トラは、

『うそをつけ。そんなことは聞いてないぞ』といった。きつねは、

『うそだ思うなら、わしの後についてこい。どんなけものも、みな、わしをおそれて逃げていくから』といった。

トラは、変だとは思っていたけれども、きつねの後からついていった。そしたら、どんなけものも、みな逃げていった。

ほんとうは、みな、トラを見て逃げたんだが、トラは、みながきつねをおそれて逃げたと思っただけだ。

こんなきつねはどこにでもおるぞ。だまされたらいかん。ご用心、ご用心」

原話…『一休諸国物語 巻二』第五 一休、狐ばなしの事

再話…村上郁

